

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2011/09/05

Vol.9

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 23 年 第 3 回 / 9 月議会 印西市議会定例会が始まります。

今回の定例会は9月5日(月曜日)から10月5日(水曜日)まで行われる予定です。

(今回の定例会では、平成22年度の印西市の決算認定も行われる予定です。)

「ぐんじとしのり」は、9月6日(火曜日)午前10時過ぎ(予定)から、「市民オンブズの会」(小倉台在住の雨宮弘明議員と二人会派)を代表し、40分間の代表質問に立ちます。

以下に議会事務局を通じて執行部に提出した今回の質問内容を記載させていただきます。

傍聴を希望される方は、印西市役所5階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は36名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 第3回(9月)定例会 代表質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 放射線被曝に関する対応について

福島原発の事故を受け、インターネット等では、関東の放射線のホットスポットとして、流山市、柏市、松戸市等の名前が掲載され、一部の雑誌や地図には印西市もホットスポットの一つとして名前があがり、そのために子育て家庭に多大な心配や不安を与えている。放射能汚染・被曝から市民(特に子どもたち)を守ることに、印西市はどのような対応をとるのだろうか。

(1) 市民からの問い合わせ、市民への情報発信のために窓口を一本化する必要があると思うが、どのように考えているのか。

(2) 成長期にある子どもたちへの放射線の健康影響について、保護者は、不安を募らせています。印西市は、保育園や幼稚園、学校等の校庭や園庭において、子どもたちが、体に受ける放射線量が、年間で、どの程度までならば、健康への影響が無く、安全であると考えているのか。また、その数値は、毎時に換算するとどの程度になるのか。その数値は、どのような科学的根拠に基づく数値であるのか。

(3) 放射線量が、子どもたちへの健康に影響が考えられる場所については、子どもたちの健康を守るために、放射線の健康影響を減らすために他市でも見られるように重機をいれての「除染」を中心とした対応を図るべきと考えるがどのように対応するか。

(4) 「子供たちの事を考えると、別の市に引っ越しするのが良いのかなと考えてしまいます。子供が病気になってから後悔したくないです。」と言った声が聞けるが、印西市はこのような市民の声にどのように応えていくのか？

(5) 食物の放射線汚染に関わる給食等の提供について
学校給食の提供について、市では大手業者が安全なものを提供しているというが、その情報を広く市民に公開する予定はあるか。その情報は業者から文書により証明され、安全かどうかの判断をしているのでしょうか？

(6) 放射線量の数値を公園や公共施設など測定した場所に明示し、市民への情報公開をすすめるべきだと思うが、どのように考えるか。

2. 印西クリーンセンターの建て替えについて

7月31日（日曜日）に環境整備事業組合主催で「次期中間処理施設整備に関わる説明会」が開催された。クリーンセンターの建て替えについては平成20年末から事業対象用地の選定においては組合議会、印西市議会での説明に始まり、その後、なんども組合議会や市議会などに対して進捗状況の説明や、議員が自ら一般質問を行い、状況は都度確認してきたように感じていたが、当日は予定していた内容を大幅に変更して、学識経験者の特別講演もないまま終了した。

- (1) 印西市としては環境整備事業組合を構成する自治体として、当日の結果をどのように捉えているのか。
- (2) 印西市として移転予定地の周辺住民に対する説明責任として、どのように考えているのか。
- (3) 印西市としては建て替えについては、必要不可欠なものと考えているか。その根拠はどのようなものか。

3. 印西市環境保全条例の運用について

印西市には環境基本条例があり、この本旨を達成するために生活環境の保全等に関して印西市環境保全条例が制定されています。しかし、印旛吉高台地区において、騒音に対する苦情があり、長期間放置されていると聞きます。

- (1) 当該地区の居住者からの相談によると合併前から苦情を申し立てていたと聞かすが、なぜ対応できなかったのか。
- (2) 今後、市としてはどのように対応していくのか。

4. 牧の原駅圏の将来について (略)

放射線等に対する対応について ～ 印西市の取組みについて

放射線問題に関し、印西市としては、安心感を高めることができるようにする取組みが必要との判断から、子供たちの利用する施設を優先に放射線量の低減化に資する取組みを行ってまいります。

市立幼稚園、小学校、中学校、保育園

- (1) 各幼稚園、小学校、中学校、保育園の放射線量を定期的に定点測定し、公表するとともに、放射線簡易測定器を配備し、詳細に測定する。
- (2) 各幼稚園、小学校、中学校、保育園に積算線量計を配備し、人に対する積算線量を測定し、公表する。
- (3) 各幼稚園、小学校、中学校、保育園内の側溝等について、清掃・洗浄を行う。
- (4) 各幼稚園、小学校、中学校、保育園において、芝生の刈り込み、除草、枯葉や落ち葉の処理、樹木の剪定等の日常の清掃活動を通して、放射性物質がたまりにくい環境を整える。
- (5) 給食の食材については、今後も、食材の産地を公表するとともに、食品の安全情報を収集し、安全が確認されたものを使用し、安全・安心な給食の提供に努める。
- (6) 放射線低減化対策についての実証実験を行い、その結果とその後の推移を踏まえ、放射線量が市内で相対的に高い校庭、園庭から、実施していく。

私立幼稚園、保育園

- (1) 市において各幼稚園、保育園の放射線を定期的に測定し、公表するとともに、必要に応じて、放射線簡易測定器の貸出しを行う。
- (2) 人に対する積算線量を測定のため、各幼稚園、保育園に積算線量計の貸出しを行う。
- (3) 各幼稚園、保育園が放射線量低減化策を実施しようとする場合には、支援を行う。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。また、この紙面は皆様のお手元に配布するまで地域により、1週間程度の時差が発生することもあり、市政の最新情報を求める方は、私のブログやツイッターをご覧ください。市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。 ぐんじとしのり